



耐久高等学校同窓会報

耐久



長谷川 利行 画「鉄工場の裏」

1931(昭和6)年・油彩・カンバース
46.0×61.0cm 東京国立近代美術館蔵

NO. 34

1891(明治24) 京都府山科生まれ
1906(明治39) 私立耐久中学入学
1909(明治42) 私立耐久中学中退
1921(大正10) 上京。洋画家・歌人
1940(昭和15) 没

—— 己が身の影もとゞめず水すまし

川の流れを 光りてすべる——

利行

東京上野不忍池弁天島「利行碑」

平成25年度卒業式

第六十六回全日制・第五十八回定時制卒業式が三月三日(月)朝夕に分け挙行された。

この卒業式をもって定年退職される堀潔校長は、最後の式辞で、「希望の見えにくいこの閉塞感のある社会においては、『感謝の心』を抛り所とすることが大切である。」また『損か得か』よりも『善か悪か』を見極める『良き心』で人生を歩め。」と述べられ、「本校の歴史と伝統に誇りをもち、真健美の校訓をいつまでも大切に！」と卒業生に言葉を贈られた。

大西義弘会長は、「本校卒業生としての誇りをもち、夢を実現して欲しい。」明恵上人の「あるべきようわ」に触れ「常に自分に問いかけ行動することが大切。」同窓会活動の意義について「友情は喜びを二倍に悲しみを半分にする。」との温かく力強い言葉を贈られた。



そして厳肅さと清々しい雰囲気の中でした。式典は、卒業生代表上野山貴也君の答辞により参加者全員が感動する素晴らしいものとなった。

平成26年度入学式

平成二十六年度入学式は、四月八日(火)に行われ、全日制二〇〇名、定時制十三名の入学が許可された。全日制入学式では、新入生を代表して池邊魁星君が堂々と自信にうち満ちた宣誓を行い、自覚ある高校生活のスタートをきった。

ごあいさつ

校長 清水 博行



4月より、耐久高等学校19代目の校長を務めさせていただいております。

耐久史を紐解くと、全国の伝統校には藩校の系譜を引き継ぐ高等学校が多い中、本校は私立耐久中学校を前身に、開学当初から国際情勢に対応できる人材を育成するため、「自学自励」の精神を核として、独自の教育システムを展開してきたことは、驚嘆に値すると思います。160年を超える年月の間、国や社会のあり方が変わり、戦災や津波等の自然災害を被りながらも、永続を願って名付けられた当初の願い通り、「耐久」の文字は消えることなく、高邁な志を持った多くの人材が育ち、郷土有田・和歌山のみならず、日本さらには世界で舞台上に活躍しています。

このような点から、耐久高校のスクールミッション(社会的使命)は、「グローバル人材が育つ学校であるとともに、地域社会の充実・発展に貢献する優れたローカル人材(ローカルリーダー)を育てる学校」であると理解しています。しかし、今の若者達は過去のどの時代の若者よりも今を満足し、将来の目的のために生きるより、身近な幸せを大事にする傾向が強いのと言われています。高校時代は、「自分さがし」に思い悩みながら育つ揺籃期のようなもので、後の人生の決定に与っては極めて大事な時であります。生徒一人一人が「人生をいかに生きるか、社会の中でいかに在るか」について考え、その考えの中でき、そこから何かを表現していくことが重要です。そのために、キャリア教育や

道徳的価値観・人生観等を包括した、「在り方・生き方教育」を充実・推進していく所存で、その指針として、濱口梧陵氏の生き様や宝山良雄氏が制定した三綱領「真 美 健」が重要な鍵となると考えます。

有田地方には、それぞれ特色のある3つの高校が100年を超えて存続し続けています。県内は勿論、全国的にも希有で、有田地方の文化(教育)の高さや豊かさを反映していると思われます。近年、和歌山・海南市の学校への進学希望が加速度的に増え、有田3校への進学率は約6割程度にまでなっています。平成24・25年度入学者選抜で、3校とも定員割れとなったことは衝撃的でありました。今後、児童生徒数の減少が進む中、進学率が現状で推移すると、近い将来、有田3校の再編・統合が現実味を帯びるようになります。耐久高校がその歴史・伝統に相応しい学校として在り続けるためには、有田3校がそれぞれ特色を持つて存続することが必要です。そのためには、耐久高校が地域社会の期待・信頼感を取り戻し、中学生や高校生の域外流出を食い止めるかにかかっています。

これまで十分な対応や変革を行うことが出来てなかったために、生徒や保護者、地域等の戸惑い・不安感を増幅させ、学校への失望へとつながるマイナススパイラルに陥っていったことを真摯に受け止め、4月から学校改革「耐久リバース(Redix)」に着手していきます。その根幹は、生徒の資質を最大限に引き出す(鍛える)教育システムへの転換と、教育効果を高めるための教員の意識改革と資質向上からなります。

もとより微力ではありますが、伝統と実績を踏まえつつ、地域の方々に信頼され、生徒・保護者の方に夢と希望を与えられる学舎となるよう、教職員とともに精一杯努力する所存であります。どうか母校のこれからの教育活動にご関心を持っていただくとともに、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

支部連絡先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 田 辺 善 彦 〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	会長 則 岡 宏 牟 幹事長 地 引 民 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台3-8-1 Tel 072-753-1219	会長 大 野 博 司 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜パンケット Tel 03-3359-9520	会長 吉 松 敏 隆 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

和歌山県立耐久高等学校に就任して

教頭 北 浦 弘 之



旧制耐久中学校、有田高等学校、田久高、耐久高等学校同窓会の皆様方

には、公私にわたり益々、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校教育の充実発展のためにご支援ご協力をいただき誠に有り難うございます。

1852年に濱口梧陵先生が開校され今年で162年を数える、偉大な歴史と伝統のある耐久高等学校で働けることを誇りに思います。正直言って、身の引き締まる思いです。

さて、私はこの4月の人事異動で、紀央館高等学校教頭から転任して参りました。校門から広がるインターロッキングの大きな空間、梧陵先生のブロンズ像、藤棚及び中央に池のある大きな中庭等の緑と大空間に恵まれた学校環境が、歴史と伝統をさらに重厚な形として伝えてくれます。また、本校の様々なところで、これまで多彩な分野でご活躍されていらっしゃる卒業生の皆様方の汗と熱意を強く感じております。

伝統校で学ぶ本校生徒たちに

は、地域の将来を担う人材として育ってほしいと願っています。そのため、生徒自らの強い意志で学び、真の生きる力を養ってほしいです。この湯浅および地元地域と耐久高等学校が、愛され、親しまれ、共に歩むことができる学校づくりを心掛け、本校のさらなる充実発展のために全力を尽くしたい所存です。どうかよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

事務長 小野 隆 明



平成26年4月に和歌山市の青陵高等学校から事務長として耐久高等学校に着任した小野隆明と申します。よろしくお願い致します。

こちらへ来て、まず驚いたのは郷土の自慢である小野眞次氏が本校の卒業生名簿に載っていることと教えていただいた時です。この姓を持つていたため、幼い頃からずいぶん親戚ではないかと聞かれたものです(まったく関係ないのですが)。それで、縁浅からぬものを感じています。早くも4カ月が経過しようとしてますが、初めての

県立耐久高等学校に着任して

定時制教頭 児玉 修 造



旧制耐久中学校、有田高等学校、田久高、耐久高等学校同窓会の皆様方

には、公私にわたりご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校教育の充実発展のためにご支援ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。

私は、本年度4月1日付けをもって県立耐久高等学校の定時制教頭に就任いたしました。昨年度までは県庁国体推進局競技式典課で式典班長として来年秋に開催されます紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開閉会式式典準備業務に携わってまいりました。天皇皇后両陛下が御臨席される

国体開会式において和歌山の魅力を全国に発信しようと、「紀の国の「みち」をテーマにした演技の展開に、自己犠牲の精神で人を助ける「みち」を示してくれた先人として「濱口梧陵翁」を取り上げてきたところでしたので、その精神を引き継ぐ歴史と伝統ある耐久高等学校で勤務できることに誇りと責任の重さを痛感しております。

私は七年間教育現場から離れたことと初めての定時制勤務ということで、戸惑うことも多々ありますが、教育現場で働ける喜びと現場を離れていた経験を生かして、全教職員とともに生徒一人一人と向き合いたいと思います。生徒たちがこの耐久高等学校の定時制で学べたことに自信と誇りを持つて学校づくりに取り組んで参る所存でございます。同窓会の皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

職員人事異動

堀 潔 校長

↓退職

河本 好史 教頭

↓有田中央高校校長

・栗山 昌之 事務長

↓箕島高校事務長

以上の先生方がご退職・ご転任されました。

損害保険・生命保険・ファイナンシャルプランナー事務所 和歌山FP総研 代表 川島 忠弘 (高37期・S60年卒) wfp-soken@ares.eonet.ne.jp http://wakayama-fp.com	小畑産業株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbtbs.jp	株式会社 和通 代表取締役 中田 實宏 (高17期) 〒640-8341 和歌山市黒田279-4 TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320	田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299	株式会社 柏原運送 柏原 政夫美 (高19期) 〒643-0032 有田郡有田町天満 60-1 TEL (0737) 52-5235 FAX (0737) 52-5630
---	--	--	--	---

母校への、ご理解とご支援を！

進路指導における現状について

進路指導部長 森 千佐子

平成二十五年度卒業生の進路状況について、進学者数は、四年制大学一四名、短期大学二三名、専修・各種専門学校六二名、その他(浪人等)五名となっています。前年度に比べ、国公立大学、四年制大学への進学者数は増加し、看護医療系等の専門学校への進学者も増えました。また就職者数は公務員を含めて二十九名でした。

昨今は、全体的に進学先として看護系の人気が高まっています。専門学校においては、今春より日高看護専門学校が新しく開校し、本校からも三名が進学しました。この傾向は四年制大学においても同様で、来春新設が予定されている看護学部もいくつかあります。国公立大学を含む四年制大学への合格は、今なお厳しい状況にありますが、基礎学力を定着させ、入試問題にも対応できるよう、今年度からはさらに新しい取り組みも始まっています。入試問題や模試の過去問をさらに研究し、授業や補習で取り入れたり、

週末課題に組み込むことで、問題への苦手意識を取り除き、弱点を見つけて克服できるよう、サポートを進めています。また、受験への意識を高めるため、「模試の受験のしかた」と題してオリエンテーションを行ったり、進路発見フェスタに参加し、志望分野の研究を深めたり、専門学校や予備校が行うイベントに参加したりと、早朝補習や放課後補習といった学業面での指導のみならず、モチベーションの向上にも取り組んでいます。

昨年より始まった「和歌山大学オープンキャンパス」には一三一名の生徒と五名の保護者がバス四台に分乗し、顕国神社前を出発する予定となっています。また、今年は京都大学との高大連携事業の一環で、同大学の講義を受講できるという機会にも恵まれています。本校ではこれを大学研究と位置付け、講義に先立ち、午前中は同志社大学今出川キャンパスを訪問し、同学在学中の本校OBにキャンパス案内をお願いしています。こちらの研究会は八月一九日に開催され、現在、五十名の生徒と三名の保護者が参加を希望しています。

専修・各種学校については、先述のとおり、看護系専門学校への進学希望者が多く、本校では県立和歌山医科大学保健看護学部の校内

入試説明会を開催し、全学年で三十名の生徒が出席しました。公務員希望者の中には昨年同様早くから予備校を考えている生徒もいますが、まずは現役での合格を目指しての努力を願っています。

就職に関しては、希望者が昨年より若干少なくなっているものの、今年も大手企業数社から求人をお願いしており、生徒には応募前職場見学に進んで参加し、自分の適性にあっているかどうか、十分見極めた上で、熟考して応募先を決定してほしいと思います。

希望の進路がいずれであれ、まずは学力をつけ、対応できる基礎力を培ってほしいと願っています。言い古されてきたことですが、授業を大切に、各種模試を積極的に活用して、時には自分を客観視し、足りない部分を補っていく。クラブ活動や生徒会活動、ボランティア活動に参加し、多くの人と交流を深め、内面を豊かに育み、発信力も鍛えていく。こうした積み重ねが今後の進路実現には必須の条件となつてきます。

本校における進路関係の行事では、同窓生、保護者の皆さまに多大なるご理解、ご協力を頂いております。今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。

平成二十五年度卒業生の主な進路先

【国公立大】 (進学者数)

京都工芸繊維大 工学科学部 (1)
 大阪市立大 経済学部 (1)
 兵庫県立大 経営学部 (1)
 和歌山大 経済学部 (2)
 和歌山大 教育学部 (4)
 和歌山大 システム工学部 (1)
 和歌山県立医科大 保健看護学部 (5)
 広島大 理学部 (1)
 下関市立大 経済学部 (2)
 高知県立大 文化学部 (1)

【私立大】

高知県立大 健康栄養学部 (1)
 岐阜薬科大 薬学部 (1)
 同志社大 立命館大 (2)
 関西大 関西学院大 (4)
 龍谷大 京都産業大 (5)
 近畿大 京都女子大 (6)
 佛教大 他 (2)

【短期大学】

和歌山信愛女子短大 (12)
 龍谷大短大 (1)
 関西外国語大短大 (1)
 京都文教短大 (1)
 和歌山赤十字看護専門学校 (4)
 和歌山県立高等看護学院 (3)
 近畿大附属看護専門学校 (3)
 大阪労災看護専門学校 (1)

【就職・公務員】 (就職者数)

野上厚生総合病院附属看護専門学校 (6)
 日高看護専門学校 (3)
 東燃ゼネラル石油 (4)
 住友金属工業 (1)
 西日本旅客鉄道 (1)
 日本郵便株式会社 (2)
 和歌山県警察 (1)
 和歌山市役所 (1)
 他 (1)

「おいしさの仕上げは、やさしさのトッピング」
カフェ&ベーカリー オリーブ
 有田川町熊井759-1
 TEL.0737-52-8565
 営業時間/9:00~18:30
 (カフェ/9:00~18:00)
 定休日/日・月・祝
 HP <http://www.wasaren.org/olive/>

橘屋
 Wedding Hall
 TACHIBANA
 〒649-0434 有田市宮原町新町17
 橋 爪 正文 (高39期)
 ご予約は
 TEL 0737-88-7005
 FAX 0737-88-7775
 URL <http://www.tatibanaya.jp>

「お家まるごと」お困りごと、ご相談ください
UGパナトップ
本店 有田川町徳田185 電話 52-3247
 会長 楠林 國昭 (高13期)

特集

野鳥に魅せられて…

前日本野鳥の会和歌山県支部長

阿瀬 誠一郎



今回の特集は、去る6月4日、県庁において仁坂吉伸知事から第13回わかやま環境特別賞を授与された阿瀬誠一郎氏にご登場願いました。

阿瀬さんは、過去には耐久高校PTA会長を4年間、同窓会長を12年間にわたり務められ、同窓会の発展、充実に大いに寄与された方でもあります。さて、今回受賞されたのは、30年にわたる「日本野鳥の会」の活動や小・中高・特別支援学校への課外授業等での



環境教育の実践が評価されたことによるものです。特に、自然環境保全思想の普及向上に寄与する「日本野鳥の会」和歌山県支部長を3期9年、本部理事を1期2年、近畿ブロック会長1期2年等々、数々の役職を歴任され、会の発展に尽力されたことも大きかったのではないかと思います。

その阿瀬さんに、何がきっかけでこの活動を始めたのかとお聴きすると、「もともと、小鳥や犬を飼ったりして、動物が好きなこと。新聞に探鳥会の案内が出ていたので応募し、煙樹ヶ浜にバードウォッチングに出かけたときに、望遠鏡で覗いた雄のイソヒヨドリ綺麗な姿に感動したこと。日高校に『日本野鳥の会』県支部長黒田隆司先生がおられて、仲間に誘われたこと。」との答えが返ってきました。

1984年、今から30年前の出来事です。そこから阿瀬さんの野鳥観察熱に火がつき、家業である食用油・宇治茶の販売を続ける傍ら、野鳥好きな人と毎月、探鳥会を楽しむようになったとのこと

す。

その4年後、1988年12月10日の主要新聞各紙に「珍鳥コクガン飛来・県内で4度目の確認」「国の天然記念物コクガン確認・由良町で」等々の見出しが踊りました。当時の記事を紹介します。

「国の天然記念物に指定されているコクガンがこのほど、由良町の由良湾に飛来したのを湯浅町中町、日本野鳥の会会員阿瀬誠一郎さん(54)が見つけた、仲間が写真撮影に成功した。県内では4例目の観察。発見は7日午前11時頃。コクガンは真珠の養殖いかだについたアオサをついばみながら羽を休めていた。コクガンは体長約60センチ(後略)」

その後も、「珍しいアメリカヒドリガモ発見、阿瀬さんら有田川下流で」「これは珍しい！クロツラヘラサギ、有田川で初めて観察」「阿瀬さんら有田川でムラサキサギ見つける、県下で4例目」等々の記事が数多く掲載されました。

このように、阿瀬さんの活躍が県下に広く知れわたり、現在、和歌山県環境審議会副会長、同鳥獣部会長、和歌山自然観察の森運営委員、環境学習アドバイザー、和歌山県第二種自然保護観察員等の役職に就かれています。

「カラスとすずめしか知らなかった私が、入会した翌年には県の役員になりました。野鳥観察を通して、現場で活躍されている先生方、児童生徒の皆



日本野鳥の会会長 柳生 博氏と

さん、一般の方々との出会い。本部の会合においては、皇族の方や大企業の社長さん、大学教授、環境庁の方を始め、多くの方々との交流の機会を持つことができました。何にも代え難いものだと思います。これからも、この活動を通して、人と野鳥が共存できる環境を皆さんと共に力を合わせて守り、作っていききたいと考えています。」

このように語る阿瀬さんの表情は、実に生き生きと輝いていました。

プロフィール

- ・昭和9年6月12日湯浅町生まれ
- ・耐久高校5期(昭和28年卒)
- ・自営業
- ・元耐久高校PTA会長
- ・元耐久高校同窓会長
- ・元日本野鳥の会近畿ブロック会長

文責 見矢 義夫(高21期)

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。

平成26年度 全国大会出場クラブ激励金 贈呈

7月2日(水) 昼休み 12時30分〜本校応接室において大西同窓会長より、全国大会に出場する各クラブの代表者に激励金と健闘を祈念する言葉が贈られた。

○バドミントン

全国総体男子団体 ダブルス 7名

全国総体女子団体 シングルス・ダブルス 7名(千葉県)

○空手

全国総体女子 組手・個人 形・個人 2名

全国総体男子 組手・個人 1名(千葉県)

○マンドリン

全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール 21名(大阪府)

○放送演劇

NHK杯全国高校放送コンテスト 13名(東京都)

ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門

テレビドキュメント部門・アナウンス部門

全国高校総合文化祭 アナウンス・朗読部門 2名(茨城県)

○囲碁将棋

全国高校囲碁選手権大会 団体・個人 3名(東京都)

全国高校総合文化祭 将棋部門 個人 1名(茨城県)

全国高校総合文化祭 囲碁部門 団体 2名(茨城県)



体育クラブへ

ステンレス保冷器購入 贈呈

高校総体を直前に控えた5月28日、同窓会よりグロリア魔法瓶社製ステンレス保冷器(10L・15L)19台を購入、体育クラブへ贈呈しました。



文化祭における同窓会コーナー設置について

(ご案内・ご依頼)

本年度も耐久高校文化祭2日目(一般公開日)に、下記のとおり同窓会休憩コーナーを設け、飲み物等の無料サービスを行います。

是非とも皆様お誘い合わせのうえお立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。

なお、当日お手伝いいただける方は、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

同窓会活動報告

2014(H26)年

3. 3 第66回卒業証書授与式 四役会(学校)
5. 11 関東耐久会総会(Hメトロポリタン池袋)…校長・会長・有田耐久会会長 学校・四役会懇親会
- 28 同窓会特別委員会(学校)
6. 18 会報編集委員会(学校)
- 29 スタイナート・トリオコンサート(県立図書館)
7. 2 全国大会出場クラブ激励金贈呈(学校)
- 5 県同窓会連絡協議会総会(アバローム紀の国)…校長・会長・事務局 四役会(学校)
8. 8 会報編集委員会(学校)
- 27 本部・有田耐久会合同会議(学校)

記

日時 9月13日(土)
一般公開 9時〜14時
場所 耐久高校正門
濱口梧陵翁像前テント

内容 飲み物
バルーンアート
ヨーヨーつり

(無料サービス)

わたがし(50円)

※駐車場について

一般公開日13日(土)につきましては駐車場がありません。

ご不便をおかけいたしますが、ご協力お願いいたします。

洋ラン専門
杉浦園芸
杉浦美也子(高25期)
〒649-0313 有田市千田1555
TEL (0737) 82-2955
FAX (0737) 82-0305

Total Printing System
ICHIJYO
株式会社 一条
和歌山市湊紺屋町2丁目30番地 Tel.073-423-6950
(市民会館前) Fax.073-423-6955

則岡宏牟
(高18期)
www.sunnyside-nn.net

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣
(株)ウイ・キャン・コーポレーション
取締役会長 岡 伸彦(高14期)
代表取締役 岡 勇作(高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウス ゆあざ
横山 享
(高14期)
高槻市山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

仁坂県知事 特別講演

全校生徒にエールを贈る



7月14日(月)、仁坂吉伸和歌山県知事の特別講演『がんばれ耐久高生!』が開催され、全校生徒や保護者、同窓生など約800人が拝聴しました。

はじめに、和歌山県民歌と耐久高校の校歌を斉唱し、清水博行学長より仁坂知事の経歴が紹介され、「本日は知事のご経験をもとに大所高所から、本校生徒にエールを贈っていただくことを楽しみにしています。」と挨拶されました。

講演内容は、①勉強がよく出来、大学に入れる方法②社会に出てから何が大事か③世界の中の日本④和歌山はすごい・耐久高はすごい⑤「いつか終る」「日々の感激」の5つの項目についてでした。

はじめの項目では、必死で勉強

を頑張る、人の言うことをよく聞く、志・動機をもつ、大学で何を学ぶか、情熱をもつて生きるなど、知事の高校時代の勉強法にもふれられました。

次に、社会で必要とされるいい人になるためには、道徳的に生活して心を磨き、ひたむきに生きること。「どうせ私なんか…」という言葉。この言葉で意欲や努力する気が薄れてしまうので絶対やめてほしい。さらに人生の目的を持ち、『きらめき夢トーク』で対談された橋本高校出身で当時の外務省欧州局審議官、本田悦朗氏の「自分を越えたもののために尽くす」という言葉を引用し、自分の家族、友人、郷土、国のために尽くす大切さなどを話されました。

世界の中の日本については、経済状況やどんな国と思われているのか、グローバルな視点で話され、自分の位置づけや世界で通用するにはどうしたらいいのかをよく考え、追及することが大切とのことでした。

和歌山はすごい・耐久高はすごいについては、明治の新政府は和歌山藩の政治をモデルにしていたそうで、本校創立者の一人である



濱口梧陵を万能の天才と称え、「稲むらの火」や初代郵政大臣、初代県議会議長の話など教育、政治、医学など他の人々のために尽くした功績を紹介されました。そして「和歌山県は戦後、すべての高校の名前を変えてしまったが、耐久高校は濱口梧陵の名声を守り、校名を変えなかった。これほど立派な学校は県下にはない。」と称賛され母校に誇りをもつよう話されました。

最後に、「辛いことはいつか終わると思つて頑張つてほしいが、我慢をするのとは違う。好きな人に微笑んでもらえたとか、テストで良い点を取れたとか、日々の感激を大切にして人生を送って欲しい。」と熱い思いを語ってくださいました。

講演後、生徒との質疑応答では、



「達成感を得た出来事は」、「私達は郷土のために何が出来たか」などに對して、「県民の皆さんのために仕事をするのがうれしく、毎日大小の感激があることが達成感です。」など、生徒達に丁寧に分り易く応えていただきました。

最後に、「歴史と伝統ある本校の生徒としての誇りを持ち、今日のご講演をこれからの人生に生かしていきます。」と力強く生徒会長の芝竜之介君が御礼の言葉を述べました。

広くて深い講演内容でしたが、仁坂知事の熱いエールに全校生徒は熱心に拝聴していました。私も深く感銘を受けました。このたびは、県知事様のお計らいで全校生徒に貴重なご講演を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

同窓会長 大西 義弘(高16期)

伝統ある耐久の さらなる充実・発展を! 高10期 同窓会	母校の飛躍と 充実を! 高19期 7・8・9組	頑張れ耐久 母校のさらなる発展を! 『卒業50周年全クラス合同同窓会』 高16期 同窓会	蔵野製材(株) ホームセンタークラノ 蔵野 圭一 (高5期) 湯浅町湯浅 2735-1
貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)			

関東耐久会

関東耐久会総会・懇親会

第12回関東耐久会総会・懇親会は、5月11日(日)池袋メトロポリタンホテル「カシオペアの間」におきまして出席者64名にて午前11時より開催いたしました。

富山副会長のもと、式次第に則り平成25年度の活動報告、活動計画、決算報告、監査報告と議案が承認され、本年度の役員改選は現執行部の一任により承認されました。

引き続き、前回好評を頂きました耐久高校にゆかりのある先生をお招きしての講演に入りました。

今回は「私が最近思うこと」の演題で、ご自身の学生としての在学期間を含め23年間を耐久高校と共に過ごされてきた数添元校長先生に講師をお願いしました。



前半は時代とともに変わりゆく教育の現場で先生が体験された母校での出来事や学生達の様子そして地域の方々との係わりを、また後半は現在外

国語学校の校長として多数の国々からの留学生支援に尽力されている中で、多くの方々との交流のエピソードを交えて講演頂きました。今まで以上に教育現場ではグローバルな人材育成が求められるな

か、和歌山県下の公立高校の中で率先して留学生を受け入れ、海外提携校との絆を構築されているご苦労を知ることができました。

親睦会では新任の清水博行校長先生・上山章善湯浅町長のご挨拶に始まり、今回初めて参加された7名の方々より自己紹介を頂きました。今年も盛り沢山の美味しいお料理と地元取寄せのなれ寿司を堪能しました。賑やかな時間は思いのほか早く、OBのお口添えもあり時間を延長してもらったの会となりました。

徐々にはありますが、母校にゆかりある先生をお招きする事により初めて出席頂く方々が増え嬉しく思います。この会が故郷や学生時代の自分を振り返り、旧友や思いがけない人との再会や新たな仲間の「和」ができることを期待しております。

この度、会員である前壽二様が執筆された本【明恵さん】をご紹介したところ、会場での購入希望がありました。ご持参された30冊すべての売上金はご好意により当会へ寄付頂きました。深く感謝申し上げます。

塚本 かよ子(高25期)



有田耐久会

有田耐久会バスツアー開催

の華麗さに感動の溜め息、もう戻れないを実感したり、男性も女性も大満足の舞台でした。車中では、恒例のビンゴゲーム。いつも役員様方のご苦労とご配慮の景品付き。今年は大目玉の扇風機まであって添乗員さんもびっくり。でも耐久ルールがあつて、ビンゴ一番のりの方には当たりませんでした。本当に楽しい一日をありがとうございました。

有田耐久会では、去る六月十五日(日)、今年百周年を迎えた宝塚歌劇雪組公演の観劇と大阪梅田新阪急ホテルでの豪華バイキング料理を楽しむバスツアーで、新たな親睦を深めました。七期から三十一期までの幅広いおじちゃん、おばちゃん三十五名のグループでしたが(勿論、そのまま舞台へ立たれたらと思う位スラリとした方もいらっしゃいました)、ロビーへ入って先ず安心!同じような団体さんがあちこちにいらして…。いざ舞台では、皆それぞれに十分楽しみ、懐しみ、あ

私の小さな小さなボランティア活動として、皆様にお願いです。ペットボトルのフタの収集協力です。数年前、同級生達と熊野火花大会へのバスの中、かしましくしていましたが、「耐久高校の先輩の方達でしたら、そのペットのフタ収集にご協力を!!」と声をかけられました。この勇気ある後輩に感動して、それ以来、耐久高校正面玄関横にある生徒会の受付専用コンテナに届けさせていたいています。



きっと彼女はご自分の道に進まれている事でしょう。いつか耐久の同窓生としての出会いがあればと願っております。

川村 恵子(高18期)

なぎの木を植樹しました

3月15日(土)、広港海岸通の緑地に有田耐久会及び本部役員で、なぎ



の木を植樹しました。「東雲なびく生石山 夕日に映ゆる 那耆の海」母校の校歌をはじめ旧制耐久中学校、耐久中学校寄宿舎寮歌、現在の広川町、湯浅町の小・中学校の校歌にも「なぎの木」が詠われています。

植樹の場所は、広川町教育委員会のお許しを得、濱口梧陵翁の偉功の地である国指定史跡広村堤防沿いの緑地になりました。

約40本の苗木が元気に育ってくれることを願いながら一本いつぽん心を込めて植えました。あわせて周辺の草刈りとゴミの清掃作業も行いました。

また、新調したイベントブルゾンも作業までに間に合いました。

6月下旬には施肥と草刈り作業を行いました。会員の皆様も近くを通りになった折は、一度見てやってください。夏場はお手伝い頂けるのでしたら水やりをお願いします。みんなで育てていきましょう。

和泉 保廣(高22期)



『なぎの木』
熊野地方で神木とされ、竹の葉に似る葉は古く鏡の裏や守り袋に入れられて災難除けにされた。
広辞苑より

第11回 有田耐久会ゴルフコンペ開催

平成26年3月19日(水)、有田東急ゴルフクラブに於いて、恒例のゴルフコンペを開催いたしました。今回は8組30名の方々に参加していただき、和氣あいあいとした中にも真剣なプレーで、参加者全員楽しい一日を過ごしました。今回は大西和彦さん(52年卒)がグロス85で優勝されました。ちなみにベストグロス賞は栗山茂規さん(44年卒)で79でした。

次回は、9月10日(水)に有田東急ゴルフクラブでの開催を予定しています。今回、5名の方々に新たに参加していただきました。初参加の方も大歓迎ですので、腕に自信のある方もない方も、皆さんふるって御参加下さいませようお願いいたします。

幹事 柏原政夫美(高19期)

関西耐久会

関西耐久会ゴルフコンペのお知らせ

今年5月に開催予定の第14回ゴルフコンペは幹事長横山亨、岡伸彦の体調不良のため開催出来ず、ご参加予定の会員の皆様には大変御迷惑をお掛け致しました。

次回は今年の10月初旬には第14回ゴルフコンペを開催致しなくお知らせします。

後日ご案内を致します。そうってご参加下さいますようお願い致します。

幹事 岡 伸彦(高14期)

関西耐久会総会のご案内

1 日 時

平成26年10月5日(日)

11:30~15:30

受付 10:30開始

総会 11:00~

講演会 11:30~

成戸 昌信 氏(高校18期生)

東レ㈱常任理事 医薬・医療信頼性保証室長

演題「技術とそろばんで見るクスリ」

懇親会 12:40~15:30

郷土湯浅より取り寄せた、なれずし、しらす、金山寺味噌、アジの開きなどが、毎年大好評。当日販売あり。

2 場 所

ホテル大阪ベイタワー

4F ベイタワーホール

3 参加申込

関西耐久会幹事長 地引 民子

TEL 090-2593-4759

FAX 072-753-1219

メール jibiki@wombat.zaq.ne.jp

三 同窓会報をホームページに掲載 三

同窓会事務局のホームページ変更に伴い、ネットで同窓会報をご覧いただく事が出来るようになりました。

会報の存在を、全同窓生の皆様にお知らせする事が困難なため、ホームページをご覧になった方からの口コミやSNSなどにより、多くの同窓生の方にお知らせいただければ幸いです。

同窓会事務局ホームページ

URL <http://taikyukai.net/>

メールアドレス jimukyoku@taikyukai.net

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。



高5期

有田の風に誘われて 高校5期生

みかんの花の香りが残る、5月29日有田市宮原町の「橘家」で第5期生が二年ぶりに集った。前回の白浜ではゆつたりと一泊の旅で、会場ではこれが最後かとの声もあったが、今回は日帰りの会で案内を戴いた。徒歩（かち）漁法で有名な「有田川鵜飼」の近くの会場だったので鵜飼の話も出ていた。

命あるものはこの世に生をうければ、生老病死は自分の意志に関係なく襲ってくる。昨年末より男性5名、女性2名がお浄土に帰られた。神や仏のもとで私たちを見守ってくれているものと、心よりご冥福を祈りつつ会が開かれた。

最初にスタジオに入り、久し振りの元気な姿に声が弾み、笑いの中で集合写真を撮った。宴会場に入ると、お世話して下さった糸我町の富山千秋君が進行役を務められ、湯浅町の阿瀬誠一郎君が開会の挨拶をされた。挨拶は30名の同期生が呼びかけに応じてくれた御礼、元

気な皆様と再会できた喜び、早くも近々「傘寿」を迎えるがより一層頑張りましょうと結ばれた。続いて枚方市から駆けつけてくれた由良町出身の西脇孝君がよく通る声でお互いに逢えた喜びを「乾杯」の発声に込め、会は一気に盛り上がった。その横顔に戦後日本の高度成長期を粉骨砕身で支えた誇りが感じられた。

しばし食事と歓談で会場に笑い声が広まった。その間欠席者からのメッセージのコピーが回覧され、同窓生の様子が分かり話題が盛り上がった。特にクラブ活動、授業、担任の先生のこと、いつの間にか高校時代にタイムスリップしている。

やがて幹事から1分間スピーチが求められ、参加者一人ひとりが、地域でのボランティア、小学生のお世話をしていること、家族との生活や趣味、友人のこれなどをユーモアを交えて話してくれた。その後誰からともなく「仰げば尊し」を歌おうと提案、恩師に想いを馳せ会場一杯に歌声が響いた。カラオケが一巡し、同期生が輪になって「高校3年生」を歌い、幹事のお開きの弁で心一杯に充電し、明日からのエネルギー源として充実した生活へと向かうと共に再会を約束し、各々家路についた。

思えば私たちは小学校（国民学校）時に世界大戦が勃発、そして敗戦。高校で初めて落ち着いた勉強が出来ただけに、高校生活への感銘が深い。B29爆撃機の数北へ向かう音は空襲のサイレンと共に忘れられない。食に飢え、父母の生きる姿も忘れられない。地球上に戦争がなくなるよう祈ると共に「小 さくてもよい、私の胸の灯火を相手の人に差し上げられたら」そんな余生を願いつつ…。

宮原町の夏見任巨君の歌で結びます。

麦の秋 笑顔で集ふ 傘寿かな

蔵野 圭一

組織強化支援事業

平成17年度より毎年
①卒業後4年を経過した学年
②50歳になられた学年
これら2学年を対象に同窓会開催を呼びかけ支援（案内状に対する経費負担等）を行うもので、毎年大変喜ばれております。

次はあなた達の番です！

- ・高63期（平成23年3月卒業）と
- ・高35期（昭和58年3月卒業）

上記、期の幹事・世話人の方には今から計画・準備をお願いします。すばらしい集会を演出して下さい。

貸出し用校章小旗と名札を用意してます。



クラス会・同窓会の集いに重宝されると
思います。精々ご利用下さい。（事務局）



高16期

高16期

卒業50周年全クラス合同同窓会

平成26年6月22日有田市宮原町の橘家で1・2・3・4・5組全クラスの同窓会を開催しました。

遠くは東京、千葉、名古屋、岡山、京都、神戸、奈良、大阪から、また県内各地から、それから今回はなんとアメリカのニューヨークからも駆けつけていただき、男性40人、女性49人、総勢89人が集まり、大いに盛り上がりました。

開会に先立ち、89人全員で賑やかに集合写真を撮り、開会そして物故者のお名前を一人ずつ読み上げ、在りし日をしるび黙祷を捧げました。4人の恩師と同窓生251人中、男性21人、女性10人の31人もあり、何とも言えない寂しい気持ちになりました。



幹事代表から、「これまで1・2・3組の同窓会（合同クラス会）と4・5組の同窓会（合同クラス会）を別々に開催してきましたが、耐久高校を卒業して50周年の年、何とか全クラス合同の開催ができないかという同窓生の意見があり、昨年より全クラスの幹事（世話人）に呼びかけ幹事会を数回開き、このたびの卒業50周年全クラス合同同窓会の運びとなりました。」と挨拶、続いて乾杯した後、宴となりました。

卒業以来50年振りに出会う懐かしい友もあり、近況や青春時代を語り合い、高校時代にタイムスリップし、同窓の絆、旧交を深めました。

スクリーンでは、卒業アルバムより1〜5組の集合写真、修学旅行等の写真が映し出され、1組からクラス男女別にステージに上がり、写真の前で自己紹介しました。写真の若き自分を指さし、自己紹介する人もいました。

女性幹事3人が日本舞踊で会場を沸かした後、男性幹事4人が、学生服、セーラー服に着替え、化粧までして高校生に仮装し、会場を一巡、これには会場大爆笑で大うけでした。

そのまま、全員立ち上がり、キーボードの演奏で、校歌、みかんの花咲く丘、高校三年生を大合唱しました。

あつという間の3時間が過ぎ、5年を目前に全クラス合同同窓会を開き、再会することを約束し、惜しみながらの閉会となりました。

幹事 総田 昭三



高19期

高校入学五十年後の同窓会

高校19期（昭和42年卒）7・8・9組の同窓会が梅雨明けの7月20日、橘家にて開催されました。卒業生54名と8組担任の栗原俊文先生に出席していただきました。（7組担任の森先生、9組担任の野田先生は鬼籍に入られています）

柳実君の司会進行で会はなごやかに始まり、まずは全員で声高々に校歌を斉唱。幹事を代表して西林則男君が開会の挨拶をし、恒例としてきたオリピック年の開催を皆の要望で二年毎にした旨を述べ、栗原先生にもご挨拶をいただいた後、吉松敏隆君の乾杯で宴



が始まりました。
そこかしこのテーブルで久し振りの再会を

喜び、近況報告や懐かしい思い出話に花が咲きました。その談笑も一時のうちに、話がはずんだ挙句喧騒？の渦に入りました。六十五、六十六の年を吹き飛ばす元気さで、負けじと大声で話をするのは、久し振りで。とは言うものの、柳君が用意してくれた組別卒業写真の拡大コピーを前にしては、五十年近い歳月を実感せざるを得ません。「これがお前か」「スリムやった」「うーん」等々感慨はさまざまです。でも一方では、過ぎてしまえば一瞬のことですが、この年まで何とか頑張ってきたという思いも強くあります。

歓談も進むなか素晴らしい余興が入り、会場は最高潮に。華やかなフラメンコの衣装で登場した法眼（木村）さんはダイナミックな踊りで雰囲気さらさら盛り上げ、岩本（田広）さんのオカリナは音域の広いダブルオカリナで日頃のレッスンの成果を披露し、最後は境久君のお得意のギター演奏と唄で締めくくりました。

楽しい歓談もあつという間に時間が過ぎ、閉会となりました。最後に私から、ご高齢にもかかわらず出席頂いた栗原先生に謝意を述べるとともに、皆様が健康で二年後再会できることを祈念して締め挨拶しました。

四十年以上故郷を離れ、再び郷里で暮らすようになった私にとって、高校の同窓会は感慨深いものを与えてくれます。これからもこの同級生の縁を大切にしていきたいと思っています。

幹事 加納 芳明

部活OB・OGたちの絆 マンドリン部の巻



耐久高校マンドリン部は、昭和37年に創部され、今年で53年目になります。現在部員は3年生11名、2年生10名、1年生11名の計32名です。平日は毎日放課後、土曜日曜は午前中、演奏会が近くなると一日練習と運動部に負けないくらいの練習量をこなしています。部員全員が高校入学後、マンドリンやギターを始めた初心者で、はじめは楽譜が読めない部員も多くいますが、上級生の指導のもと、ひとつひとつ課題をクリアし

ながら、毎年8月には舞台で演奏できるよう成長しています。

年間を通して、様々な演奏会に出場させていたでいていますが、耐久高校マンドリン部の一番の目標は、毎年7月に大阪で行われる全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクールで優秀賞、特別賞を受賞することです。昨年から大会名が変更になり、審査基準も厳しくなり、なかなか厳しい状況ですが、部員全員が心をひとつにした演奏を目指し、日々練習に励んでいます。また、毎年3月下旬には、1年間の総仕上げとして、定期演奏会を行っています。様々な曲に挑戦し、多くの方にマンドリン音楽のすばらしさを感じてもらいたいと、部員一同頑張っています。今年度も、OB OGの方の協力をいただき、3月29日(日) 13時30分より海南市民交流センターで第38回定期演奏会を開催する予定です。是非、皆様お越しください。

顧問 戸川しをり

まごころ

同窓俳壇

・青梅や我が家の味につけこめり 生駒 千栄子 (高13期)

・軒先に揺れて涼やかつりしのぶ 中尾 和代 (高25期)

同窓歌壇

・ふりむけば遂げ得ぬことの多かりき 楠本 弘子 (高女28期)

井堰越へなむ鮎にも似たり

・明日への進路決まらず卒業す 神武景気の始まりし年(母校の思い出) 戎 和男 (高7期)

・葉落とした枝に若芽は息吹きたり 耐へし分だけ濃きみどり映ゆ 池永 義子 (高21期)

◎ 神秘的で妖しく幽玄なホタル。その儚い最期の光は、観る者を魅了し癒す。田口の砂防公園に、ホタルがよみがえったのは10年前の夏。ホタルを飛ばそうと決意した夫婦が、谷川にたった2匹のホタルが飛んだのに感激したそう。以後、試行錯誤を重ねて、最近では多い日にはひと目数百匹が乱舞する。ホタル観賞には裏方さんの汗の結晶がある。自然の破壊は早急に進むが、取り戻すのは容易ではない。

◆ご献金に感謝

- ・有田高女同窓会様
- ・高10期同窓会様
- ・高16期同窓会様
- ・高19期同窓会様

『編集後記』

「鉄工場の裏」、母校の大先輩長谷川利行画伯の作品を表紙に掲載させていただきました。

本年度着任された清水博行校長、北浦弘之教頭、小野隆明事務長、児玉修造定時制教頭から、それぞれ熱き思いの伝わるご挨拶を寄稿していただきました。また、森進路指導部長からは、進路指導の取り組みと現状の報告があり掲載致しました。

特集記事は、「野鳥に魅せられて……」と題し、日本野鳥の会和歌山県前支部長阿瀬誠一郎氏の活動を紹介しました。阿瀬氏は、長年の野鳥観察や紹介、環境保護活動の功績から、本年六月「わかやま環境特別賞」を受賞されました。

七月「がんばれ耐久高校生！」の演題で、仁坂県知事の特別講演会が開かれました。講演内容を大西同窓会長が要約し、掲載致しましたが、県知事の未来を担う若者や教育にかけ

る熱い思いが伝わるものでした。関東耐久会始め各地の耐久会、各期同窓会の楽しい活動報告、情盛豊かに表現された俳句や短歌の投稿もいただき、盛り沢山で充実した紙面を作ることができ、編集スタッフ一同、大変喜んでおります。過去の同窓会報は、同窓会ホームページでご覧いただけますので、ご利用ください。会報発行に際し、多くの方のご支援・ご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

夢語り

笑いあったり

おこったり

席を並べた

窓辺なつかし

